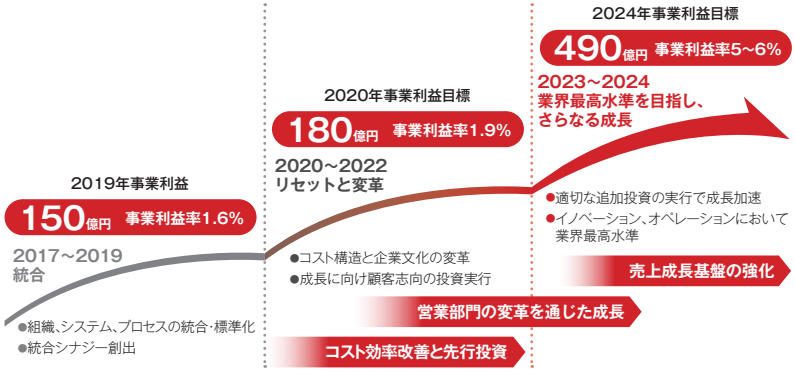
2020年～2024年 中期計画

2019年8月に、2020年から2024年までの中期計画を発表しました。2024年の事業利益率※1およびROEの目標を5～6%としており、「これまでのやり方は選択肢にない」という考えのもと、抜本的な変革を行うことにより、業界最高水準のイノベーションとオペレーションの実現を目指していきます。



※1 事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

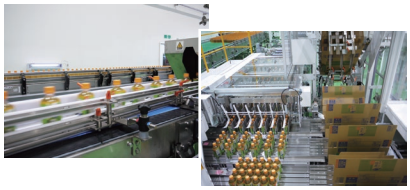
●2024年の主要指標・目指す姿

主要指標	2024年目標 （増加目標は2019年比）
売上収益	売上収益：年率+0.5～1% 販売数量：年率+1～1.5%
事業利益率	5～6%
EPS （基本的1株当たり当期利益）	標準化EPS※2：3倍以上
ROE （親会社所有者帰属持分当期利益率）	5～6%
株主還元	中期的には安定配当に注力 長期的には配当性向30%以上

※2 事業利益に含まれない一時的な影響を除いたEPSのこと。

供給体制強化に向けて

当社は急速に変化する市場環境や多様化するお客さま・お得意さまのニーズに迅速に対応すべく、製造能力の拡張と物流体制の最適化に取り組んでいます。製造面では、需要が高まっているアセプティック（無菌充填）製品の製造ラインが、2019年下期以降、新たに京都工場と白州工場で稼働しました。また、物流面では、白州工場と熊本工場の新倉庫が稼働開始しました。



京都工場新製造ライン（2019年10月～）

白州工場新倉庫（2019年11月～）

熊本工場新倉庫（2020年1月～）

1,500億円の社債を発行

2019年9月に総額1,500億円の普通社債を発行しました。当社は、中期計画において、持続的成長に向けた基盤構築のための投資を予定しており、調達した資金はそのための戦略的設備投資資金や発行済社債の償還資金等へ充当していきます。なお、当社の格付は、日本格付研究所（JCR）長期発行体格付：AA-（2020年1月15日付リリース）、格付投資情報センター（R&I）発行体格付：A+（2020年2月28日付リリース）であり、財務体質に対し高い評価を得ているものと考えています。